



特集 町の英語教育が変わります

—岡垣町英語教育改革イニシアティブ 2016—

子どもたちが中学校や小学校で学んでいる「英語」。今、この英語教育の在り方が大きく変わろうとしています。

今回の特集では、英語教育を取り巻く国の動向や岡垣町が取り組む英語教育の特色を紹介します。

グローバル化に対応できる英語教育へ

急速なグローバル化が進む中、国では2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、小・中・高等学校での英語教育全体の見直しを進めています。文部科学省が策定した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」では、小学校や中学校で活動型の英語教育を週1〜2時間、小学校高学年では教科としての英語教育を週3時間程度、中学校では英語授業は英語で行うことを基本とするなど、英語教育全体の抜本的改革が掲げられています。

子どもたちの将来 英語力の向上が必要不可欠

このような国の改革の背景には、今後のグローバル化に対応するため、異文化理解や異文化コミュニケーション力が必要となることが挙げられます。国際共通語といわれる

英語で会話し、意思を伝えることは、子どもたちが将来、社会で活躍するために必要不可欠となります。

そこで、町を挙げて英語教育の充実に取り組むため、『岡垣町英語教育改革ワーキングチーム』を結成しました。

国の改革に先立ち 岡垣町独自の英語教育を

ワーキングチームは、岡垣中学校と岡垣東中学校の英語教諭7人で構成し、岡垣町ふるさと大使であり、文部科学省の「英語教育の在り方に関する有識者会議」委員を務める安河内哲也さんを英語教育アドバイザーに迎え、議論を重ねました。

会議では、主に中学校で行う英語教育の授業改善や効率的な授業を行うためのICT機器の設置などが提案されました。そして、2020年に迫る国の英語教育改革に先立ち、岡垣町独自の英語教育改革である『岡垣町英語教育改革イニシアティブ2016』を策定しました。



音声活動を重視した授業改善

デジタル教科書を導入することで、これまで英語の授業開始時に行っていた音声活動を、さらに充実させます。

デジタル教科書には、子どもたちが学んでいる教科書英文が本場の発音により収録されているため、反復して聞くことによりリスニング力（聞く力）を高める効果が期待できます。また、

話せる・聞き取る英語力を養う

発音を聞きながら、生徒たちも合わせて発音することで、英語の正しい発音や意味を理解して『話せる英語力』を養います。

さらに、英語をより身近に感じ、楽しく英語を学ぶ環境を整えるため、子どもたちにとって身近な英語である「歌」を授業などに取り入れていきます。

岡垣町が取り組む

特色ある英語教育

岡垣町が取り組む特色ある英語教育は、6つの柱となる取り組みで構成されます。



ICT機器の充実と積極的な活用

短時間で効率よく学ぶ

各中学校の普通教室に「電子黒板機能付プロジェクトター」などのICT機器を設置します。

電子黒板機能を活用すると、生徒が使っている教科書と同じ内容や授業で配布するプリントなどの教材をスクリーンに映し出せるようになります。これにより、先生と生徒が授業内容を共



有でき、これまで以上に分かりやすい授業ができるようになります。

また、先生が黒板に問題などを書き込んでいた時間が短縮され、生徒と向き合う時間を多くとれるようになります。

英語教室の設置

英語を楽しむ環境を

ALT(外国語指導助手)が運営する英語教室を、各中学校に設置します。教室内での会話は英語で行い、掲示物も英語で書かれています。

また、設置するICT機器で英語の動画や歌などを流すことにより、英語に親しむ環境を提供します。



INTERVIEW

私たちも期待しています

ICT機器が整備されると、デジタル教科書などの教材を使って教えられるようになるので、生徒たちが英語の単語や本文をテンポよく学んでくれるのではないかと期待しています。また、これまで定期試験では「聞く」「読む」「書く」の3技能を

意識して問題を作ってきましたが、これからは「話す」テストの中身もより充実させて生徒たちに4技能をバランスよく身に付けてもらおうと考えています。

英語という「言葉」を使って、積極的に人とコミュニケーションをとり、グローバルな視点を持った生徒に育てて欲しいです。そのためには、英語を楽しみながら前向きに学んで欲しいと願っています。



岡垣東中学校英語教諭 篠田 薫さん

ALT (外国語指導助手) の増員

本場の英語に触れる



ALT (外国語指導助手) を1人から2人に増員し、各中学校に1人ずつ配置しました。これにより、生徒がALTと接する機会が増え、ALTとの会話を通して、生徒たちの英語への意欲が増すことが期待できます。また、ALTは、主に中学校の英語の授業で活躍しますが、今年度からは、小学校に今までより多く派遣すること

とを計画しています。小学校では、主に5・6年生の外国語活動の時間に担任の先生と一緒に授業を行います。また、中学校でも英語の授業や英語教室などで、引き続きALTと触れ合う機会を設けます。長い時間をかけて本場の英会話に触れることで、英語や異文化への理解を深めることができます。

岡垣町のALT (外国語指導助手) を紹介します

はじめまして。私は、日本に来る前は大学で心理学と歴史を学び、卒業後に、中国で英語を教えていました。

日本に来たのは初めてですが、子どもたちに英語を好きになってもらえるよう頑張りたいと思います。また、岡垣町の歴史も多く学んで、皆さんと異文化交流したいと思っています。よろしくお願いします！



岡垣東中学校区担当
ケリー ラヴィン
Kelli Lavine
出身国：アメリカ合衆国・ルイジアナ州

こんにちは。美しく素晴らしい岡垣町で英語を教えられることを本当にうれしく思います。私は昔からずっと日本に行きたいと思っていました。そして、英語の先生にもなりたくて願っていました。この二つが同時に叶ったことをとても幸せに思います。

岡垣町の子どもたちに楽しい英語の授業を行って、彼らの毎日を輝くものにしたいと思っています。



岡垣中学校区担当
ケイシー モーガン
Casey Morgan
出身国：アメリカ合衆国・ユタ州

COMMENT

グローバル化に対応できる充実した施設整備を

岡垣町では、今年4月に策定した岡垣町教育大綱の中で「国際社会に生きる人材を育成する英語教育改革」を特色ある学校教育の柱として推進していくことにしています。

岡垣町の未来を担う子どもたちが将来、社会で生き生きと活躍することが

できるよう、中学校での授業や家庭学習をより効率的・効果的なものにしていきます。ICT機器の充実、教科書音声CDの配布など、充実した施設整備を行い、積極的に英語教育を支援していきます。



岡垣町長 宮内寅生



教科書音声CDの配布

聞き取る力を養つ

学校以外の場所でも英語に触れる機会を増やすため、授業で使う教科書に合わせた音声CDを配布します。

音声CDを使った学習を定着させることで、英語を聞き取る力を高めまします。また、予習用の教材として活用することで、学校での授業内容の理解がより深まることが期待できます。

4技能を意識した定期試験の検証

コミュニケーションツールとしての英語力を養つ

中学校で行われている定期試験は、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）を意識したバランスの良い試験となるよう検討していきます。

これまでの定期試験では「聞く」「読む」「書く」の3技能が重視されてきました。しかし、グロー

バル化が加速する中で、社会で必要とされるコミュニケーションツールとしての英語力を高めるため「話す」技能を含めたバランスの良い定期試験を検証します。



INTERVIEW

子どもたちが英語を大好きになる町を目指して

国は今後、どのような英語改革を行うのですか—

戦後最大とも言われる今回の国の英語教育改革には、いくつかの柱があります。一つ目は、小学校からの外国語活動の導入です。近い将来、小学校3年生から外国語活動が始まります。二つ目は、活動型授業への転換です。生徒の口が動き、英語で発信することが重視されます。そして三つ目は、入試や学力調査の英語問題の改編です。2020年の新センター試験も含め、4技能のバランスの良いテストを導入していくことが計画されています。今後は徐々に高校入試も4技能型の試験へと変わっていくことが予想されます。

岡垣町はこの英語改革にどう対応するのですか—

このような急激な動きにいち早く対応し、子どもたち

が世界で役に立つ英語力を身につけられるように、町の英語の先生と今後の方向性についての協議を進めています。そして、すでに改革を行っている学校の事例や先生からの提案を反映し、岡垣町英語教育改革イニシアティブ 2016 が完成しました。

イニシアティブに示された目標は多種多様で、すぐに実現できるものばかりではありません。実現には皆さんの理解と協力が必要不可欠です。「子どもたちが英語が大好きになる町」となるように、岡垣中学校・岡垣東中学校の英語科を応援していただきたいと思います。



岡垣町英語教育アドバイザー
安河内哲也さん

COMMENT

将来の社会環境を見据えた教育を



教育長 花田敏彦

グローバル化が急速に進展する中で、子どもたちの将来の社会環境を考えると、多文化、多言語、多民族の人たちが共存する環境になることが予想されます。

世界中で使われている英語は、異文化コミュニケーションを図るために、重要な役割を果たします。また、話せる英

語を身につけることは、町の未来を担う子どもたちにとって大きな財産となります。教育委員会は、今回策定した「岡垣町英語教育改革イニシアティブ 2016」を確実に実行し、今後も検討・検証を重ねながら、英語教育を町の特色ある教育として進めていきます。